

# なごみ

平成二十七年十一月 題字 周防 和衛

## ◇冬の感染症について

医務室 看護師 岩井 史子

冬季の感染症の代表選手は何と言ってもインフルエンザと感染性胃腸炎（ノロウイルス）でしょう。

インフルエンザは突然の高熱と身体のだるさ、強い風邪症状（咳・鼻水など）と背中や関節の痛みを伴い、小さい子どもや抵抗力の低い高齢者では肺炎や脳症などの、重大な合併症を引き起こすことがあります。予防接種である程度感染を食い止めていますが、油断はできません。

一方、感染性胃腸炎は食中毒とは違い、ヒトからヒトへ感染するいわば「腹風邪」で、下痢や嘔吐など消化器を中心とする症状で発熱を伴うこともあります。しかもインフルエンザと違って予防接種がありません。同じ型のウイルスだと免疫がで

き、一〜二年は感染しませんが、違う型だと何度でもかかってしまいます。今年も新型が出現しているようで免疫のない人が多いので、爆発的感染

拡大が懸念されています。また、治療薬もないので、水分補給しながらウイルスが身体から出ていってくれるのを待つだけです。たいていは数日で治りますがやはり高齢者や乳幼児は、脱水などに陥りやすいので注意が必要です。

どちらにも感染する、つまり病気がどんどん広がってしまうという厄介さがあります。

特に高齢者施設では「持ち込まない」「拡げない」対応がカギになります。病原体が持ち込まれない限りご利用者から自然に感染症が発生する事はないので、職員をはじめ出入りするひとりひとりが持ち込まないよう予防する、という事を徹底しなければなりません。

ればなりません。食事をしっかり摂り、睡眠休養し、抵抗力を高めておきましょう。



消毒薬や熱湯で1分以上、など病原体をやっつける方法もありますが、何と言っても「こまめな手洗い」に勝るものはありません。石鹸とブラシを使った完璧な手洗いも必要ですが、回数を増やす方法が有効と言われています。トイレのあと、調理の前、食事の前、など何度も石鹸で手を洗いましょう。特に帰宅時の手洗い＆うがいは冬季のみならず、日常的な習慣にしましょう。

## ユニット報告

### ◇ふじが丘・すみれが丘ユニット

十一月になりユニットの飾りつけも、すっかり秋をテーマにしたものになりました。ご利用者の日々の生活では季節の変化以外にも、訪問者というのはよい刺激になり、新しい表情を見せてくださるきっかけに



## ■委員会報告

### ◇事故防止委員会

今月の事故防止委員会では、八月から一カ月間かけて各部署の職員からの、危険予知トレーニングの回答について協議致しました。今回のテーマは入浴時、脱衣時のそれぞれのシーンを一つずつ写真を見て危険と思う箇所と、どうすればその危険を防げるのかについて考察する事例としました。

様々な危険と感じる意見があげられました。今回はその中でも特に少数意見にもじっくり考察をしました。介助中は予期せぬ事が起こりうる可能性あります。そんな時でも適切に対応出来るよう、日頃より準備をしていけるよう取り組んでいきます。(吉田)

### ◇研修委員会

十月二十六・三十日に感染症研修を行いました。

内容や研修の実施内容については、

感染症委員会の記事をご覧頂ければと思います。

研修委員会の役割としては、事前にポスターを作成・掲示し、感染症研修への一人でも多くの職員の参加を募り、ユニットでも研修委員にて、研修参加への働きかけを行いました。また、研修終了後はユニットでの伝達研修を行うよう委員で声を掛け、全職員がこれからの時期に備えいきます。

今後も他の委員会と情報を共有しタイムリーな研修を行い、ご利用者の皆様に安全で快適な生活を過ごして頂けるよう努めていきます。(小田)

### ◇サービス向上委員会

サービス向上委員会では、平成二十七年年度サービス満足度調査に向けての最終段階の打合せを行いました。委員としては、調査票回収率の向上と頂戴したご意見を参考に、サービスの質向上を目指していきたいとの方向で話し合いが進みました。

昨年度の調査で頂戴したご意見を基に、取り組んだ事柄として幾つか紹介させて頂くと、整容面での強化と清掃が中心となります。整容面においては、電動ヤスリを購入し安心・安全に爪切りが行える環境を整え実施できた事。清掃面では環境整備又タッフの雇用や職員一人ひとりの清掃に対する意識の向上や、時間を設けることに重きを置きました。至らぬ点はございますが着実に実施はできてきていると感じています。継続して取り組みたいと考えています。さらなるサービスの質向上を目指して考えていますので、満足度調査へのご協力お願い致します。ご多忙とは存じますが、多数のご返答を心よりお待ちしております。(池下)

### ◇給食委員会

毎年各ユニットのリビングで行っている行事食が始まりました。仁川・武庫川ユニットでは、ご利用者の要望にてハンバーグとガーリックライスのメニューになりました。鉄



板を使用して、厨房の調理師がハンバーグを焼いたり、材料を炒めている姿を見て頂きながら、いつもとは違う雰囲気を楽しんで頂きました。ご利用者に感想を伺うと「凄く感動します」「美味しそう」と声が返ってきました。今回の行事食は『チャンチャン焼き』『中華バイキング』『お好み焼き』等、ユニット希望の多彩なメニューを厨房のスタッフが協力して頂けることで実現しました。今後もご利用者が喜んで頂けるメニューを提案し、厨房スタッフと一緒に取り組んでいきたいと思えます。(鎌倉)



### ◇感染症衛生対策委員会

感染症衛生対策委員会では、冬の時期から流行するノロウイルスへの対策として、十月二十六日と三十日の計二回、感染症研修を行いました。研修内容は、ノロウイルスが発生した時に、俊敏な対応が出来るよう、嘔吐物等の処理方法や、ガウンテク

ニツクの方法、手洗いチェックを、看護師の指導を受けながら、参加者全員で実践を行いました。研修受講者に感想を聞くと「自分の手洗いの方法をもう一度見直したい」「いざというときに困らないよう、今回の内容をしっかりと覚えておく」等という声が聞かれました。また「こんな時はどうしたらいいのか?」という質問も多く、意見交換の場にもなりました。今回研修に参加できなかった職員にも、各フロアで伝達研修を実施していきます。研修で学んだことを活かし、これからも皆様に安心して過ごしていただけるよう、取り組んでいきたいと思えます(鎌倉)



### ◇地域交流委員会

地域交流委員会では十月十八日に地域住民向けに介護技術講習会を開催しました。講習会では入浴介助と歩行介助について講義を行いました。



た。入浴介助では入浴介助における基礎知識と技術の講義をしました。実演として足浴を参加者の皆様に体験して頂きました。歩行介助では介助における注意点を講義し、実演として杖歩行や手引き歩行を体験して頂きました。次回(平成二八年春)は認知症予防講習会の開催を予定しております。日時が決まり次第、なごみと、ポスターでの告知をさせていただきます。(安藤)



### ◇編集後記

今年も残すところ後一ヶ月ほどになりました。朝夕と日中の気温差があり体調を崩しやすい時期になってきました。年末年始に向けて体調など崩されないようお気をつけてお過ごし下さい。(藤田)

